

雄和地域における統合のデメリットについて

第2回地域ブロック協議会において、委員から質問のあった統合のデメリットについて、雄和地域の4地区の住民代表から意見をいただいたものである。

1 学校統合のデメリットに関する意見

(1) 学校そのものがなくなること

- ・急激な少子高齢化により、子どもの数が少なくなり、地域から学校がなくなること自体がデメリットである。

(2) 通学距離がのびること

- ・子どもたちの通学距離がのびて、通学時間が長くなった地域がある。
- ・子どもたちがスクールバスで通学するようになったため、登下校している子どもの様子や、外で遊んでいる子どもを目にすることが少なくなった。

(3) 学校の疎遠感

- ・以前は、運動会や学習発表会などの学校行事があれば、身内に子どもがいなくても学校に行っていたが、近くに学校がなくなったら、行かないようになった。

2 その他

- ・学校がなくなったことが直接の原因かわからないが、商店や飲食店の利用が減った。
- ・統合により、雄和小・中学校の子どもたちは元気になったと感じる。
- ・統合したことで地域が大きくなり、その大きな地域の中で地域住民の交流が行われているという話も聞いている。
- ・雄和地域以外の地域では、統合の問題で不安を感じていると思う。雄和地域でも3年前に同じように不安だったので気持ちはよくわかるが、統合してみればすぐに慣れる。
- ・学校の統合の問題よりも、一人暮らし世帯や空き家が増加していることが問題であり、雄和地域自体の維持が今後の課題である。

など